平成30年度 事務事業マネジメントシート

車	事業名 北消防署管理事業					
77	₽ □	10101014	日在手术		01 09 01 01 06 05	
政	策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山(生活環境の整備)	主管課	北消防署	
施	策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	主管課長	吉野 康雄	

「 事務事業の目的・内容

	<u> </u>					
事業目的	対象	北消防署職員	意図	北消防署職員及び消防施設の充実強化を図る。		
事業内容		市民生活における安全・安心、安定を守る拠点として庁舎の施設、設備及び車両の維持管理を行う。				
事業別ら現在の状況	Eまで	平成14年から毛用的者となつに。 型域泉児が変化し、火青の複雑化、丁的行政の局度化別 低行政の重亜性により				

I	[]	事務	事業の実	績•現状及 7	<u>び成果を</u>	表す指	標の動き	_ع	コスト	·の状況
			名	称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
		1	消防車両道 台)	厘用件数(2	1, 436	1, 517	1, 729	件	$\rightarrow \rightarrow$	
		2	救急車運用	月件数	2, 171	2, 184	2, 144	件	$\rightarrow \rightarrow$	
1	指標	3	車両の点権 回数	食・修理・整備	25	43	32	件	777	
		4	庁舎の点権 回数	食・保守・修理	37	39	42	件	777	
		5								
		6								
ع	指標で表すこ とができない 定性的な成果							基づく	二対する現状(客観的事実・データに 現在の状況や取組状況) 5庁舎の老朽化が進んでおり、毎	
=	事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度		平成30年度		年修緯	善が発生しています。	
事	務事	業の総]גו (a=b+c)	79, 739, 66	4 79, 072, 326		77, 665, 340			
	事業費(b)(円)		4, 224, 66	5, 240, 326		5, 153, 340				
	うち一般財源 4,224		4, 224, 66							
	職員給与費(c)(円)		75, 515, 00			72, 512, 000				
	人役・職員(人)		11. 0	11.00		11. 00				
			再任用(人)							
			臨職(人)							
47	人役・嘱託(人) (オカラリア(7月)									
-	初期投資コスト(円)(建設又は取得年度の				-					
恋	想定耐用年数 (年)			(建設又は取得年度のみ記入)						

Ⅲ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

(1) 3-100		今後の必要性	A 必要性が高まると 考えられる	有効性	目標達成度	A	達成できた
個別評価		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	Α	対象者は適切である
					コストの削減	A	削減の余地はない
総合評価	I 拡	充 (事業	- を拡大して継続すべき)		•		

(2) 事務事業の業務改善について

	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
①H30当 初の改善 計画 (Plan)	市内北部地域の防災拠点であることから、消防庁舎及び車両、資機材等を 適切に維持管理するとともに、経費の 削減に努める。
②H30に 実施した 取組(Do)	消防庁舎及び車両、資機材等の適切 な維持管理。

③取組に おける課 題 (Check)	消防庁舎の老朽化が進行し、修繕も増加しているため、市内北部地域の防災拠点として機能を果たせるよう、適切な庁舎管理や車両、資機材の管理が求められている。
④課題に対する今後 (H31~)の 改善計画 (Action)	消防庁舎、消防車両の維持管理や資機材の点検整備、修繕費用があることから、各職員が「器具愛護」を常に意識し、経費の削減に努めている。